



# 感性を高め視野を広げる本のチカラ 「本」のある暮らし 読書が開く無限の可能性

読書を通じて一冊の本が与える  
「体験」という知の積み重ね

実感している人も多いかもしれませんが、ここ20年ほどで街の書店が約半数ほどに減っています。自治体に1件も書店がない「書店ゼロ自治体」が全国で約2割も存在すると言われ、身近なものだと思っていた「本」はいま、遠い存在になろうとしています。何気なくふらっと立ち寄った書店で運命的な一冊に出会う。手に取ってじっくり選ぶ。そのような機会は、今後さらに減っていくのでしょうか。

インターネットの普及によるネット通販の増加や、電子書籍への転換がおもな要因とも言われ、国はオンライン教育拡充を目的に教科書の原則デジタル化を打ち出すなど、紙媒体や書籍に触れる機会は今後ますます減っていくかもしれません。さらに、若者を中心に進む読書離れも問題視され、特に大学生や高校生の半数が、1ヶ月に1冊も本を読んでいるという調査結果も出ています。

そもそも、なぜ本を読まなければいけないのか。確かに生きていくために、必ず必要ではないかもしれませんが、ネットなら知りたい情報や短時間で広く得ることが出来ます。一方で、本にしかない魅力も存在します。私たちは、日々の生活で世の中のすべてを体験することはできません。読書を通して著者の体験や考えを共有し、感性を高め、人生を豊かにしてくれます。子どもたちにとっては知らない言葉に出会い、正しい知識を得る貴重な存在。ページをめくるたびに想像を膨らませ、物語の世界に入り込み、感情の変化を体験する。そこには、本でしか得られない本当の価値があります。

錦江町では、2カ所の図書室に約2万冊の蔵書を備え、今年4月からは大隅2市5町にある



併設するキッズルーム



文化センター図書室

錦江町文化センター内にある図書室。今年4月から常設するパソコンで蔵書検索や予約もできるようになった。

本に出合える町内の図書室



開館時間▶ 9:00 ~ 17:00 蔵書数  
休館▶ 毎週 日 ☎ 22-0517 約1.6万冊

役場田代支所2階フロアをリノベーションして、図書室がオープン。畳スペースやキッズルームも併設する。

開館時間▶ 9:00 ~ 17:00 蔵書数  
休館▶ 毎週 水 ☎ 25-2511 約1万冊

錦江町生まれの直木賞作家 川越 宗一さん  
京都からふるさと錦江町へメッセージ

Profile  
錦江町生まれ、大阪府出身。「天地に燦たり」で第25回松本清張賞を受賞して作家デビュー。2作目の「熱源」で直木三十五賞を受賞。京都市在住の42歳。



川越 宗一さん  
(錦江町生まれ)

「天地に燦たり」第25回松本清張賞受賞作  
「戦を描く作品の軸に、義でも忠でもなく礼を選んだ」

戦のなかでしか生きられない島津の侍大将。被差別民でありながら、儒学を修めたいと願う朝鮮国の青年。自国を愛し、「誠を尽くす」ことを信条に任務につく琉球の官人。豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹く荒れる東アジアを、三つの視点から描く。

「熱源」直木三十五賞 / 本屋が選ぶ時代小説大賞  
「人に決められる、自己決定できないことの理不尽さ」

日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。文明を押し付けられアイデンティティを揺るがされた経験を持つ二人が出会い、自らが守り継ぎたいものの正体に辿り着く。人が共に生きる姿を描く長編歴史小説。



10月4日に開催された「川越 宗一オンライントークショー」イベントの様子は12ページに掲載。

トークショーで語られたメッセージ

両親とも錦江町生まれで、盆や正月には一緒に帰省していましたが、海のイメージが強く、小説に出てくる海のシーンは錦江湾を思い浮かべて書くことも多い。鹿児島弁も好きで熱源でも使っています。コロナが収束したら帰省し、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



Interview 参加者の声を聞きました  
川越さんの世界観を感じました！国や地域、文化の違いなどそれぞれ育った環境で変わる価値観。自分の基準で判断するのではなく認め合うことの大切さが、アイヌ同化政策を背景に描かれています。

12の図書館も利用できるネットワークを構築。約50万冊の蔵書から検索し、予約や取り寄せもできるようになりました。また、子どもたちが本の魅力に触れる機会として、大人気の恒例企画「夜のおはなし会」や、鹿児島純心女子短大と結ぶ包括連携協定のつながりでも、「世界に一冊の絵本づくり」講座も今年初めて実現。錦江町生まれの直木賞作家、川越宗一さんのトークショーを開催するなど、本が持つ魅力発信と、新たな世界に出会う機会創出を追求します。

12の図書館も利用できるネットワークを構築。約50万冊の蔵書から検索し、予約や取り寄せもできるようになりました。また、子どもたちが本の魅力に触れる機会として、大人気の恒例企画「夜のおはなし会」や、鹿児島純心女子短大と結ぶ包括連携協定のつながりでも、「世界に一冊の絵本づくり」講座も今年初めて実現。錦江町生まれの直木賞作家、川越宗一さんのトークショーを開催するなど、本が持つ魅力発信と、新たな世界に出会う機会創出を追求します。

大隅広域図書館ネットワーク  
図書館利用エリアが拡大

4月から大隅2市5町の図書館を利用できるようになりました。蔵書数は約50万冊と大幅に増え、ネットで検索や貸出予約もOK！利用カードは町内2カ所の図書室で作れます。



管内12カ所の図書館で貸出可能となることから、借りられる本の種類が大幅に増えます。貸出・返却窓口も増えてとても便利に！



12の図書館も利用できるネットワークを構築。約50万冊の蔵書から検索し、予約や取り寄せもできるようになりました。また、子どもたちが本の魅力に触れる機会として、大人気の恒例企画「夜のおはなし会」や、鹿児島純心女子短大と結ぶ包括連携協定のつながりでも、「世界に一冊の絵本づくり」講座も今年初めて実現。錦江町生まれの直木賞作家、川越宗一さんのトークショーを開催するなど、本が持つ魅力発信と、新たな世界に出会う機会創出を追求します。

大隅広域図書館ネットワーク  
図書館利用エリアが拡大

4月から大隅2市5町の図書館を利用できるようになりました。蔵書数は約50万冊と大幅に増え、ネットで検索や貸出予約もOK！利用カードは町内2カ所の図書室で作れます。



管内12カ所の図書館で貸出可能となることから、借りられる本の種類が大幅に増えます。貸出・返却窓口も増えてとても便利に！



本を通じて人が出会い、生まれる交流

大人気「夜のおはなし会」、鹿児島純心女子短大との連携



新たな本に出会う場や、本に触れる機会を増やす取り組みを進める図書室。恒例の大人気企画「夜のおはなし会」や、包括的連携協定で今年実現した「世界に一冊だけの絵本づくり」は、想像力やコミュニティ能力を育て、子どもたちの可能性を大きく広げていきます。

3. 蔵書検索 & 貸出予約



パソコンやスマホで検索 & 予約が可能！文化センター図書室に設置してあるパソコンからも予約できます。

2. 本のお取り寄せOK



錦江町の図書室にない本でも、他市町の図書室から取り寄せて貸出できます。貸出窓口と返却窓口は同じ図書室が条件となります。

1. 貸出蔵書数が大幅増



管内12カ所の図書館で貸出可能となることから、借りられる本の種類が大幅に増えます。貸出・返却窓口も増えてとても便利に！